

# ジュニア ガイド

なりきって学ぼう、  
感じよう、驚こう。

# JUNIOR GUIDE

PORT OF HUMANITY  
TSURUGA MUSEUM

TAKE FREE

Why Apple...?  
りんごってなんで?



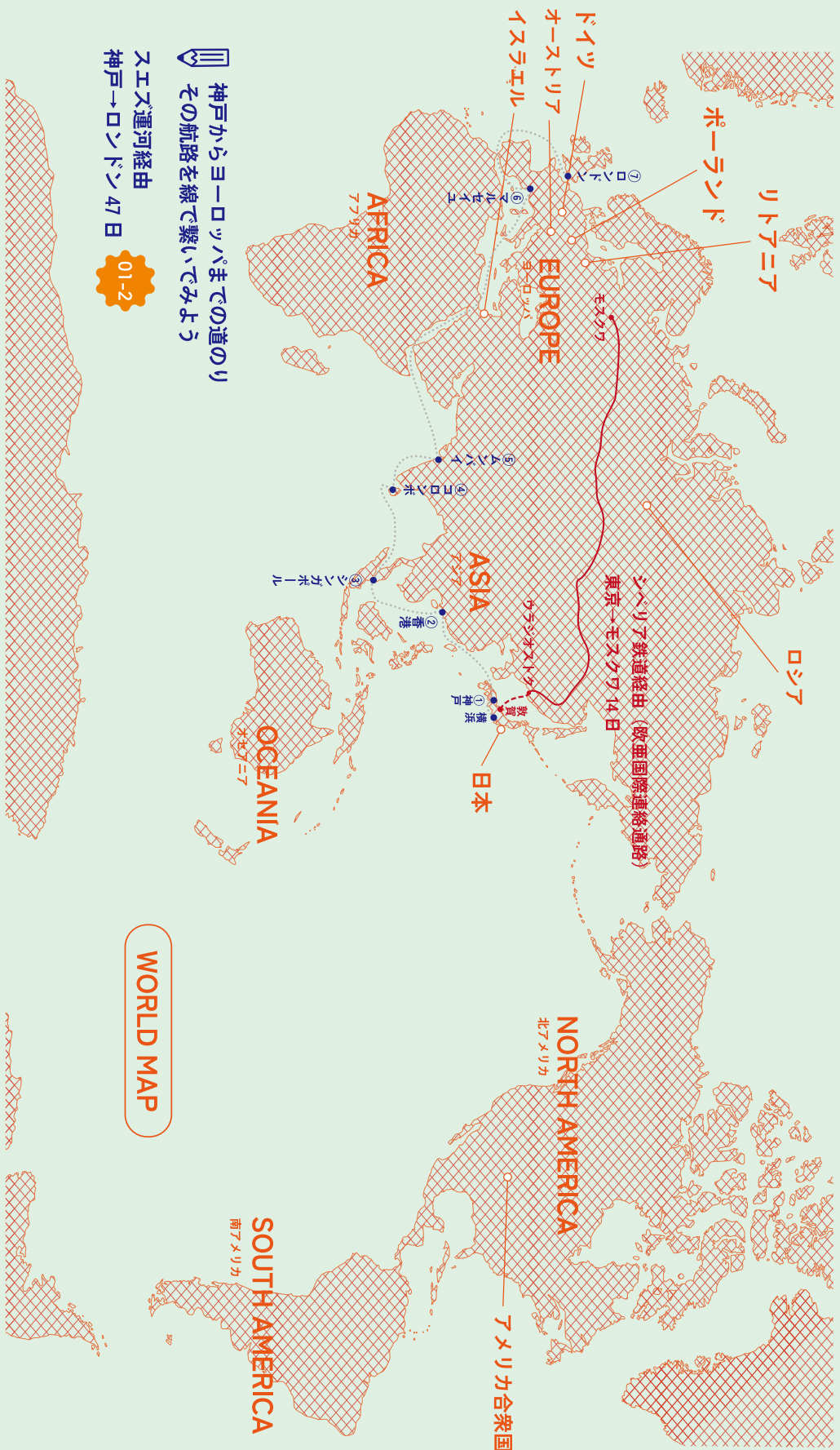
人道の港  
敦賀ムゼウム

Part of Humanity  
TSURUGA MUSEUM

名前

クラス

学年



WORLD MAP

スエズ運河経由  
神戸→ロンドン 47日

神戸からヨーロッパまでの道のり  
その航路を線で繋いでみよう



# ようこそ、人道の港 敦賀ムゼウムへ

このジュニアガイドでは、「なりきって学ぼう、感じよう、驚こう。」をテーマに、館内の展示を分かりやすく、楽しくガイドしていきます。館内の展示と照らし合わせて順番にみていきましょう。

学んだことや、気づいたことは (P10) にメモしよう！

**01-1** ガイドの中に登場するこのマークの番号と、下の地図を照らし合わせて、順番にみていこう。

**まもろう資料館マナー** 4つのマナーを守って学びましょう



走らない



さわ触らない



さわ騒がない



食べない/飲まない

# 00

敦賀港は、ポーランド孤児・ユダヤ難民が上陸した日本で唯一の港。この「人道の港 敦賀ムゼウム」では孤児と難民、そして敦賀や日本の歴史を伝えています。それにしても、むずかしい言葉が多すぎる。まずは、言葉の意味から学んでみよう。

## 難民

なんみん

人種や宗教、政治の考え方などの違いが理由で、自分の国にいと命を狙われたり、ひどい目にあうおそれがあるので、外国にのがれた人のこと。

## 孤児

こじ

様々な理由で、両親や親戚などの保護者を失ってしまった子どものこと。

## 人道

じんどう

人として守るべきことや、行うべきこと。捉え方に正解はない。みんなも考えてみよう。

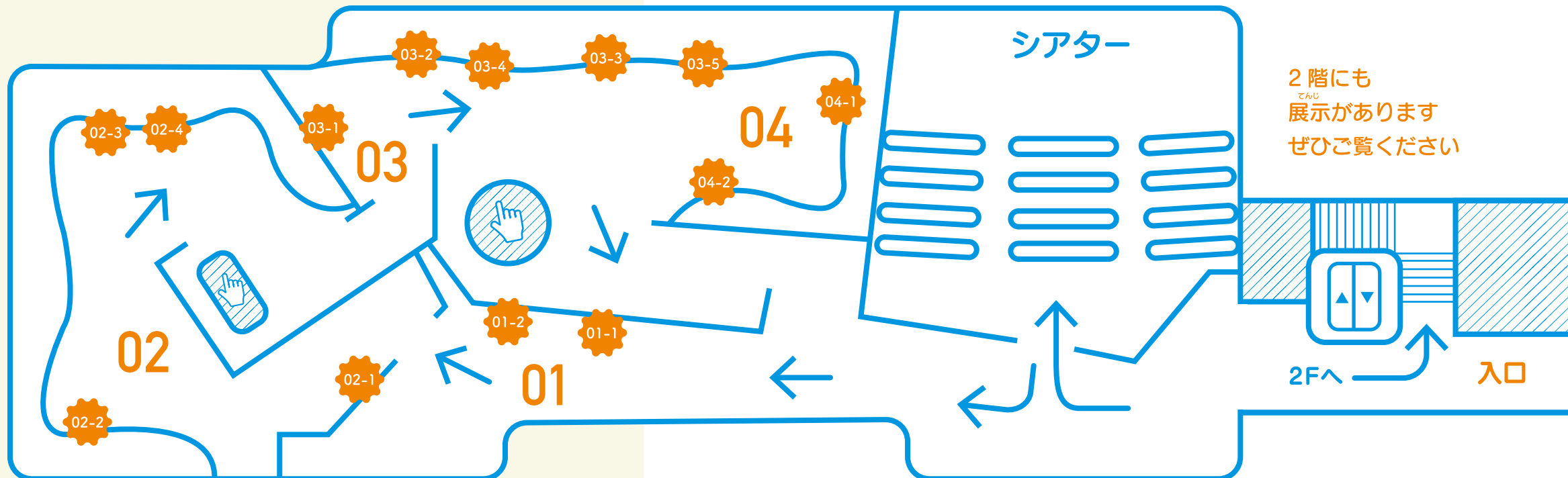
## ビザ

海外へ行くときに、その国の領事館などが発行するもので、パスポートが有効で入国することに問題がないと推薦すること。査証ともいう。

1F

体験型モニター  
を見てみよう！

TSURUGA  
MUSEUM  
FLOOR  
MAP



# 大陸への玄関つるが

福井県・敦賀市には大きな港があり、日本と世界を結ぶ「玄関」としての役割をになっていました。そのため多くの人々や物などがこの敦賀を通過して世界へ行き来していたのです。敦賀港の昔の写真には、多くの倉庫や大きな船が写っています。

そんな敦賀では、あるものが特産品として有名です。それは北前船を使って北海道から運ばれ、敦賀で加工・保存されて日本各地で有名になりました。そんな敦賀の特産品とは一体なんでしょうか？



Q 敦賀の特産品はなんだろう？

おぼろ (ひらがな)

☞ 答えは帰ってから調べてみよう！

01-2 外国への交通手段が船しかなかった時代は、日本からヨーロッパまで47日間もかかったという記録があるそうです。しかし、欧亜国際連絡列車が通ったことで東京から敦賀を通過してイギリスのロンドンまで17日間で行けるようになりました。

当時の乗客になりきってみる

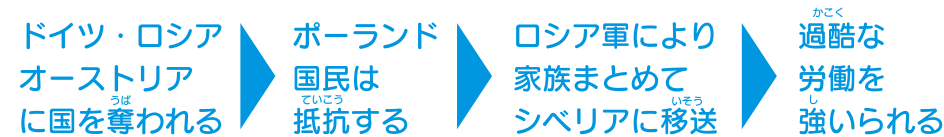


Q 47日も船に乗っていないといけない…  
何を持っていこうか？どんな問題があるだろう？

Blank rounded rectangular box for notes.

# ポーランド孤児

02-1 ポーランドのれきし 1772年からの歴史



02-2 ポーランド孤児の救済

アンナ・ビルケウィッチによるポーランド児童救済会からの救助の願いは諸外国には引き受けてもらえませんでした。日本政府は日本赤十字社を中心に孤児の救助を行いました。その嘆願書が展示されています。観察してみよう！

観察しよう！ 嘆願書が発行された日付を見てみよう

02-3 日本で一時保護、そして帰国

1920年7月に375人の孤児が、1922年には388人の孤児が船で敦賀にやってきました。ポーランド孤児はここ敦賀から東京と大阪に移動して保護されました。孤児の救済にはたくさんの寄付が集まりました。食事にも気を配って、温かく迎え入れたそうです。

さらに詳しく -> 天王寺動物園でゾウに乗ったという記録や、ポーランドへ帰国する時に逃げ出した子がいた。帰国する際の船で「君が代」を歌っていたとの証言が残っています。

ポーランド孤児になりきってみる

Q 帰国する前にどんな気持ちで逃げ出したり、日本の国歌「君が代」を歌っていたりしたのだろう？想像してみよう

Blank rounded rectangular box for notes.

ポーランド孤児

このような状況で 親が死んでしまい 孤独になった 子どもたち



アンナ・ビルケウィッチ

日本の皆さん  
ポーランド孤児を  
助けてください…

観察しよう！ 02-4

たくさんの寄付の 情報が書かれた 寄附申込書綴を 見てみよう

シベリアでの状況

平均気温は -20~35℃  
最低気温は -50℃にも！  
耳当てをしていないと、  
耳が腐り落ちてしまう。  
食べ物もなく、家もない…



# 03 ユダヤ難民

ユダヤ人

「ユダヤ教」を信仰する人やその子孫のこと



すぎはらちうね  
杉原千畝  
1900年  
岐阜県生まれ  
当時40歳

1933年からの歴史 03-1

ナチス・ドイツによって迫害されたポーランドなどに住むユダヤ人は、国外に逃れました。そのような人々は「ユダヤ難民」とも呼ばれ、やがて敦賀港に上陸し、さらに別の国へ避難することとなります。

03-3

声を聞いてみよう

当時の様子を語る杉原千畝の声を聞けるよ！

迫害とは？ 弱い立場の人を追い詰めて苦しめること。ヨーロッパのユダヤ人約600万人に対する国ぐるみの組織的な迫害および虐殺のことを「ホロコースト」と呼ぶ。(ホロコースト百科事典参照)

03-2

## ユダヤ難民を救う、杉原千畝さん

ユダヤ難民たちはポーランドを脱出し、中立国であり、隣国のリトアニアに逃げることとなります。しかしリトアニアにも危険は迫っていたため、当時領事代理であった杉原千畝が苦悩の末、日本を通過する「ビザ」を発給します。

## 杉原千畝になりきってみる

日本政府から許可も出でおらず、ユダヤ難民を受け入れることは良くないとされていたため、家族(妻、子3人)含めどのような対応をされるか分かりませんでした。

Q どんな気持ちでビザを発給したのだろう

03-4

ビザを観察しよう

必要な枚数が多く手書きでは間に合わなかったため途中からスタンプで押されているよ！

人道

人道を優先したことで多くの命が救われた

「命のビザ」と呼ばれる



ヤン・ズバルテンディク

03-5

杉原千畝以外にも、様々な人々の協力でユダヤ難民を救う、「命のバトン」が繋がりました。

都市名

のオランダ領事代理で、難民たちに脱出のルートを示し、リトアニア脱出を助きました。

都市名

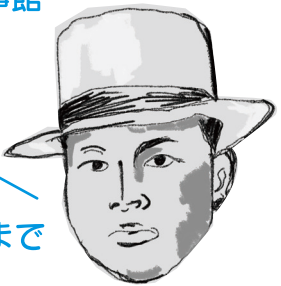
の日本領事館総領事代理として外務省からの指示に反対し、難民たちを日本へ送り出しました。



大迫辰雄

都市名

から敦賀まで輸送業務を十数回つとめ、リストと乗客を確認する等の業務を担当しました。



根井三郎

都市名

歴史学者の私は、ユダヤ難民の滞在期間を延長するために、何度も政府などに掛け合い、許可を得ました。



小辻節三

日本領事館？

海外に住む日本人のサポートや日本と海外を繋ぐ役割

04-2

## 辿ってみよう、足跡サイン



人道の港 敦賀ムゼウムから氣比神宮までの道には、敦賀に上陸したユダヤ難民たちの足跡をイメージしたピクトグラムが描かれています。ユダヤ難民が辿った道を巡りながら敦賀の街なかを散策しませんか？ また、ムゼウム前には上陸地点を示す看板と記念プレートが設置されています。上陸地点に立って当時のポーランド孤児やユダヤ難民の気持ちになり

詳細はこちらのサイトから

https://tsuruga-museum.jp



# 04 人道ってなんだろう



## つるが 敦賀でのユダヤ難民 04-1

ユダヤ難民の上陸の舞台となった敦賀にはたくさんの目撃証言や体験談が残っています。敦賀のまちの人々が優しく接した様子や、怖がっていた様子など、気になったものを読んでみよう。

なぜ腕時計が展示されている？

## 新聞記者になりきってみる

新聞記者になりきって、当時の敦賀に上陸したユダヤ難民の様子を伝える見出しをつけて新聞を完成させよう！ ①敦賀の人々の証言から1つ選ぶ ②選んだ証言の展示内容やタイトルをもとに新聞の見出しを書いてみる ③友達や先生、家族と共有する

例 「つるがではユダヤ難民にりんごが手渡されました」  
「ユダヤ難民は銭湯に入りリラックスしました」など



ムゼウム新聞 年 月 日

ムゼウム新聞

号外

敦賀の港にユダヤ難民が上陸

福井県敦賀市の港にユダヤ難民が上陸しました。杉原千畝氏によって発給されたビザを携えて訪れたユダヤ難民は、敦賀の人々にあたたかく受け入れられ、敦賀を満喫しています。ユダヤ人のリトアニアからの逃亡を手助けしたヤン・ズバルテンディク領事代理や根井三郎領事代理などが協力したことで命のバトンがつかないで済んだのです。ヤン・ズバルテンディク領事代理が最終地点と決めて、根井三郎領事代理が難民たちを日本へ送り出す強い後押しをしました。上

陸したユダヤ難民の多くはその後神戸へ向かい、日本唯一のユダヤ人組織「神戸ユダヤ人と生活を送る会」の支援の目的国のビザを取得する準備のためには、難民が滞在期間では短く不十分でした。そこで、歴史学者の過節三は彼らの滞在期間を延長するために何度も政府や自治体へ掛け合い、その許可を得ました。命のビザによって上陸したユダヤ難民たちは、神戸の滞在を経てアメリカ、カナダ、オーストラリア、南米、上海などに向けて出港します。

Q ユダヤ難民を受け入れる市民になりきって、自分ならどう感じるか考えてみよう

04-2 ユダヤ難民たちは敦賀に上陸後、神戸での滞在を経てアメリカ、カナダ、オーストラリア、南米、上海などに向けて出港して行きました。

## 各国との交流は現在も続いています。



旧ムゼウムがあった場所（現・金ヶ崎緑地休憩所）を含め、ムゼウムの周辺には様々な交流の証として記念樹が植えられています。

2階では映像資料のコーナーや、平和へのメッセージコーナーがあり、交流の様子を見ることができます。

関係する国をもっと知ろう！



ポーランド政府観光局ウェブサイト <https://www.poland.travel/ja>

カードに平和へのメッセージを書いて壁に掛けよう

交流のあるポーランドやリトアニアなどはどんな国なのだろう？調べてみよう！



### コラム1 孤児たち、再び日本へ！

日本で元気を取り戻した孤児たちはポーランドへ帰国した後も日本のことを忘れず、のちに代表として、イェジ・ストジャウコフスキ氏が感謝の気持ちを伝えるために再び日本を訪れています。さらに、孤児の帰国100周年には記念式典などが行われ、孤児の子孫や関係者が来日し、かつて孤児たちが降り立った敦賀にも訪れました。

### コラム2 孤児の出迎えをきっかけに外交官に！

敦賀出身の外交官である野口芳雄さんは、16歳のとき敦賀で孤児を出迎えたことをきっかけに外交官を目指すようになったと言われています。のちに野口さんは外交官としてポーランド公使館勤務となり、孤児たちと再会を果たします。孤児の代表者として知られるイェジ・ストジャウコフスキ氏とも固い絆で結ばれていたそうです。

# 05

Learn, Feel, Tell.

知る、  
感じる、  
伝える。

学びや気づきはメモしよう！

今日知ったことや、感じたことは、家族や友達と共有しよう。  
さらに感じた疑問やモヤモヤは探究へのスタートだ！

- 自分の街にはどんな特産や魅力がある？ 世界の人たちはどのように暮らしている？  
そもそもユダヤ人はなぜ迫害された？ 世界の祝日やお祭りはどのようなものがある？  
現代の世界で起きている戦争や迫害とは？ 人はなぜ異なる言語を話すようになった？  
難民ってどうやったら助けられる？ 他国のことをもっと知りたい！  
自分の街には他にどんな歴史がある？ 国を超えて働く職業って何があるのだろうか？  
杉原千畝って一体どんな人なの？ さまざまな国の子どもたちと友達になるには？  
ポーランドってどんな国なのかな？ 他にはどんな人道の歴史があるのだろうか？  
ムゼウムってどんな意味なのだろうか？ どうすれば文化を未来に伝えていける？  
船や鉄道はどうやって作られるの？ 今の時代も難民っているのだろうか？

どんな疑問や、モヤモヤを感じたかな？



ムゼウムちゃん